



平成30年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力
「心の鼓動基金心臓検査機器整備計画」
引渡し式

2023年12月13日、パナマ県パナマ市において、「心の鼓動基金心臓検査機器整備計画」の引渡し式が行われ、福島大使、ベリオ保健省副大臣、オノデラ心の鼓動基金代表、その他関係者の方々が出席しました。

パナマでは、1年間に出生される約75千人の子どものうち約400人以上が何かしらの心臓の障害を持って生まれてきており、手術の遅れが原因で命を落とすケースも少なくありません。手術を行うためには、超音波検査等を受け、詳しい病状の診断及び必要な手術の決定をしなければなりません。需要が多い同検査を受けるためには、公立病院での受検のために約3～4ヶ月の順番待ちをするか、高額な検査費を要する私立病院での受検となる為、手術の実施が遅れてしまうケースが多く課題となっています。

本件は無償資金協力によって、心の鼓動基金に対し、検査を必要とする患者が迅速かつ低価格で検査を行うための超音波検査機器等を整備するものです。

このプロジェクトが、患者が直面している保健環境の改善、もってパナマの医療サービスの質の向上に寄与し、パナマの持続可能な社会経済開発に貢献することを心より願っております。

【供与額：54,061 米ドル】



テープカット



福島大使



ベリオ保健省副大臣



オノデラ心の鼓動基金代表



供与機器の説明



超音波検査機器